

# 取り扱い説明書



## 角穴パンチャー

接続穴あけ工具 No,KDK-K100

MADE IN JAPAN

対応ラックサイズ

2サイズ兼用

70H 100H

この度は角穴パンチャーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をお読み下さい。

発売元：カナフジ電気株式会社

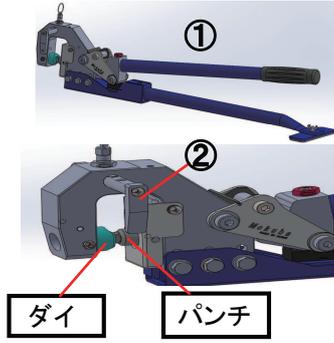
住所：埼玉県春日部市大枝 759 番地

TEL 048-735-0644

### 梱包内容及び部品名称

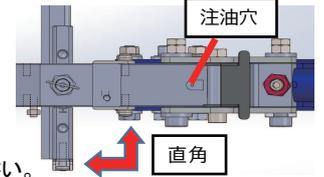
梱包内容

- ① 本体
- ② 位置決めバー
- ③ 六角棒レンチ
- ④ 取り扱い説明書 (本書)



注意 (必ずお読み下さい。)

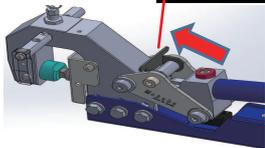
- 刃部や可動部には絶対に指などを入れないで下さい。ケガをする恐れがあります。
- ケーブルラックの下面とパンチャー本体の底面高さが合う様に固くて水平な場所で使用して下さい。
- 軍手、ゴーグル等の保護具を着用の上作業をして下さい。
- 能力以上の部材への穴あけ作業や、ハンドルに無理な力をかけないで下さい。器械が故障したり思わぬケガにつながります。
- 切断作業は周囲に人がいないことを確認し、安全を確認した上で作業を行ってください。
- 作業前にダイス固定ネジに緩みがないか、付属の六角レンチで確認してから穴あけ作業を行って下さい。又、その他のネジにも緩みがないか確認してください。工具の破損につながります。
- 各可動部及び、注油穴に注油してからご使用ください。
- 穴あけ作業時はラックを本体に対して直角として下さい。又、ラックがダイに面で接触している状態で穴あけ作業を行って下さい。正しくラックを設置せず穴あけ作業を行った場合、パンチやダイのカケ、割れにつながります。
- ダイス部(パンチ先端とダイ挿入部)に注油してください。穴あけの軽減と、パンチの引っかかりの軽減、更にダイスが長持ちし、本体の故障防止につながります。
- 2度抜き(送り抜き)は行わないでください。
- ダイスの摩耗によりバリがでるようになってきた場合は新しいダイスに交換してください。(交換方法は交換ダイスに添付)



### 使用方法

- ①穴をあけるラックサイズ(70Hか100H)に合わせ角穴パンチャーを設定します。(変更方法は裏面参照) 本書では 100H の場合にて説明します。
- ②ハンドルストッパーをダイス側に倒すことでハンドルが開閉できるようになります。

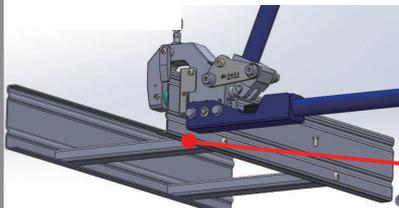
ハンドルストッパー



ハンドルストッパーは  
方向、いっぱい回して下さい。  
ハンドルロックナットと干渉する可能性があります。

- ③角穴パンチャー底面とラック穴あけ位置のラック底面高さが合っていることを確認します。(両者の高さがずれていると高さ方向の穴位置がずれる可能性があります。)

ラック

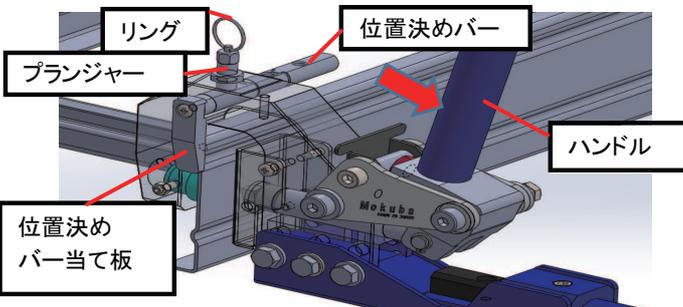


赤矢印部高さが合っている事。  
固くて水平な場所で作業する事。

注意 ラック底面(穴あけ位置)が地面から浮いていないこと  
浮いた状態で穴をあけると、穴位置がずれる可能性があります。

- ④ラック端面側の穴あけ

プランジャーのリングを引き上げ位置決めバーの当て板に近い穴に、プランジャーを合わせます。ラックを位置決めバー当て板に当て、穴位置を決めます。上記③項、パンチャーベースとラック底面高さが合っていることを確認しハンドルを倒し穴をあけます。



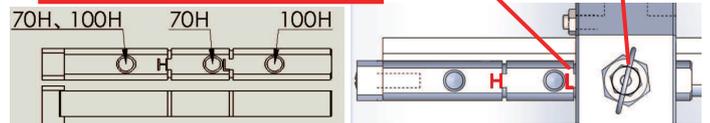
- ⑤端面より離れた位置の穴あけ

リングを引き上げ位置決めバーをLの刻印の隣、下図の位置に移動させ、リングを下げて位置を決定します。  
この位置でラックを当て板に当て、穴あけ位置を決めます。  
上記③項、パンチャーベースとラック底面高さが合っていることを確認しハンドル倒して穴をあけます。

※ 70Hタイプでは H  
100Hタイプでは L  
各刻印位置に合わせてください

L刻印

リング

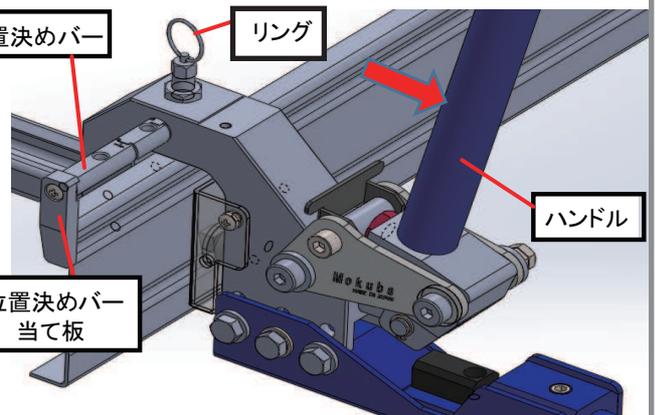


位置決めバー

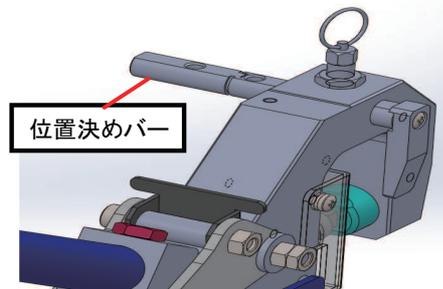
リング

位置決めバー  
当て板

ハンドル



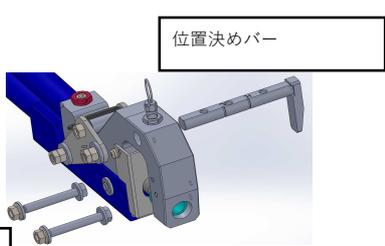
- ⑥ラックの反対側にあける場合は位置決めバーを反対側より挿入、上記①～⑤の要領にて穴あけを実施します。



## 70Hから100Hへの変更要領

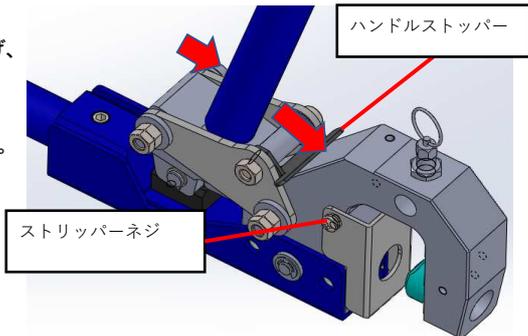
100H⇒70Hは逆手順にて実施)

- ①リングを引き上げ  
位置決めバーを抜く  
固定ナットを外しボルト、  
ハイテンション  
ワッシャーを外す。

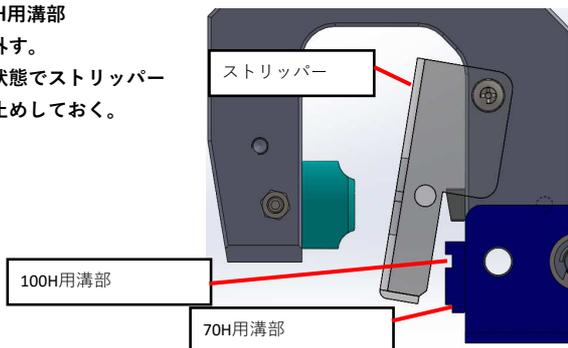


固定ボルト、ナット  
ハイテンションワッシャー

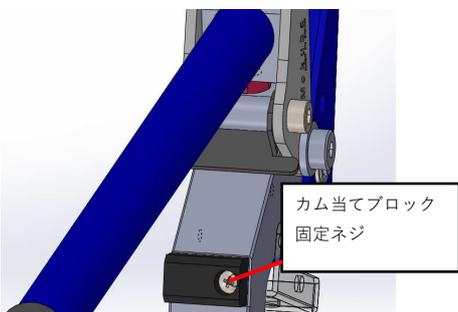
- ②ハンドルストッパーを  
最大角回転、  
ハンドルを引き上げ、  
パンチを引き込む。  
ストリッパーネジ  
(2カ所)を緩める。



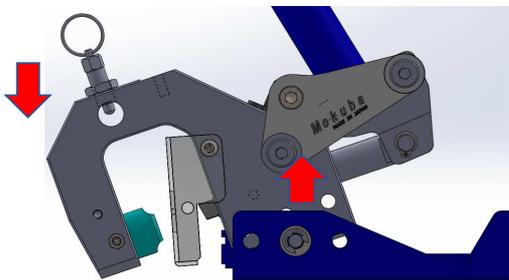
- ③ストリッパーを回転  
ストリッパー下部  
を70H用溝部  
より外す。  
この状態でストリッパー  
を仮止めしておく。



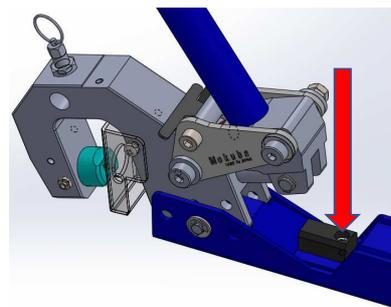
- ④カム当てブロック  
固定ネジ (M5ナベ  
小ネジ)を外し  
ブロックを外す。



- ⑤本体を持ち上げ  
傾ける。

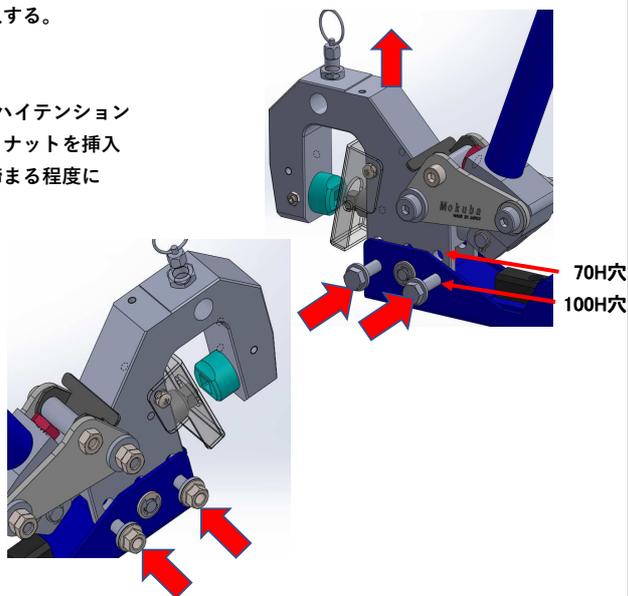


- ⑥④で外したカム当てブロックをM5ナベ小ネジを使って  
図のように固定する。

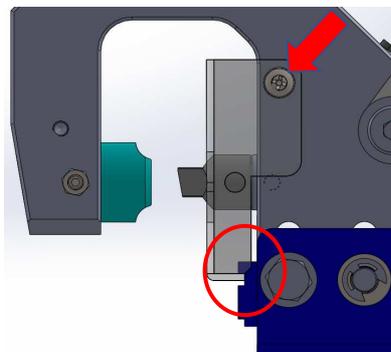


- ⑦本体を持ち上げ、100H用穴位置に M8ハイテンションワッシャーと  
ボルトを挿入する。

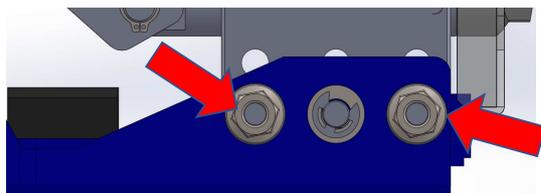
反対側にM8ハイテンション  
ワッシャーとナットを挿入  
する。手で締まる程度に  
仮締めする。



- ⑧赤矢印、ストリッパー固定ネジを緩めストリッパー下部  
を本体の100H用溝に奥まで当てる。  
(赤丸部) この状態でストリッパー固定ネジを締め込む。



- ⑨ 本体、固定ナットを本締めする。



- ⑩位置決めバーを取り付ける。

